

## 南城市「若者の夢実現委員会」提言書

若手が住み続け、活躍できるまちにしてゆくために

令和3年1月

## 1. はじめに

昨今、南城市では進学や就職などを機に市外へ転出し、30歳を過ぎた頃に戻ってくるという傾向があります。しかし活気に溢れ、魅力ある地域とするには、若手が定住し、あらゆる場で活躍できる状況にしてゆく必要があると考えられます。

私たち12名は、令和2年6月から「南城市 若者の夢実現委員会」の委員となり、合宿を含む3回の研修で社会の動向や地域の取り組みを学び、計5回の委員会で南城市に若い世代が住み続け、各分野で活躍してゆくために必要なことについて議論を重ねてきました。

それらの活動を総括し、市内における若者の活躍と定住を促進させるための各種取り組みを、南城市長へ提言いたします。

## 2. 目指すべき将来像

南城市は住宅地や田園地帯、自然豊かな地域を擁しており、住環境は良好と考えています。多くの親戚や、長年お付き合いのあるよく知った方々が近隣に暮らすコミュニティーには安心感や居心地の良さがあり、これも南城市の美点と捉えています。

その一方で、若い人たちが望むような進学先や職場が市内には少ない、古くからの伝統や人間関係を重んじることで、若い世代の意見が汲み取られにくい、一度市外へ出た人や他の地域からの転入者が馴染みにくいという面もあると感じています。観光客やIターンの人を増やすには市の認知度を高める必要がありますが、市外の人には南城市の特長が分かりづらく、ブランディングの面では改善の余地があると思われれます。

先述した南城市の良い点を残しつつ、これらの問題を解消し、私たちのような若い世代もお年寄りも、皆が暮らしやすい地域を目指すべきと考えます。

## 3. 求める取り組み

将来像を実現するための具体的な取り組みと、市に対する要望を分野ごとに示します。

### (1) 産業と仕事

仕事を求めて、若者が市外へ流出しています。その主な原因は、業種や職種の選択肢が少な

いこと、小規模な事業所が多いため全国および那覇市などに比べて給与相場が低く、就業環境や福利厚生 の面でも不足があるといった点にあると考えられます。よって、「若い世代が望む仕事ができる」、「若い世代が思うように動ける」、「新しいスタイルで働ける」といった要件を備えた、魅力的な雇用を生み出す必要があります。

耕作放棄地や空き家など未利用の不動産を有効活用することで、新たな雇用創出につなげていただきたいと思 います。中央から郊外、地方への企業移転、リモートワークやワーケーションに利用できる施設の増加などを促進すれば、UターンやIターンが増えるだけでなく、市外へ通勤している市民が市内で就業できる機会も増え、QOL（生活の質）の向上にもつながると考えられます。

南城市には、広く有名になっているような特産品がありません。これにより、観光産業や農水産業、食品製造業などのポテンシャルが十分に発揮できていない面があると思われま す。南城市らしさが伝わり、県内の他の地域には無いような産物を重点的に生産する取り組みを展開すればその効果は広範におよび、ひいては雇用の拡大と魅力的な仕事の創出にもつな がると思えます。

## （2）暮らし

知念などをはじめとした地域の道路網、土地の高低差の影響により交通に不便な面があり、高校生などについては公共交通の面で不自由も多い状況です。委員の中には、「近くに大型商業施設や繁華街が欲しい」という意見もありました。しかし、近隣に日頃の買い物ができる店があり、そのうえで交通の利便性が確保できれば、市内に大型商業施設がなくてもよいという意見でまとまりました。

交通の利便性が向上すれば観光客やレジャー客を呼び込みやすくなるため、市内の多くの産業を活性化させる効果もあると思えます。また、南城市が住みやすくなれば、実家もしくはその周辺に住んで市外へ通学、通勤するという方法を選ぶ人が増えると思われま す。この場合、職住近接とはなりません。しかし、仕事などのために転居を余儀なくされるよりは、生活にゆとりを確保しやすいと考えられます。

南城市には医療機関が少なく、不安や通院が負担になっている状況があります。これを解消するため、複数の医院が入居したメディカルビルの設置を希望する声がありました。メディカルビルに各種店舗などが複合していれば利便性が高く、利用も多くなるだろうとのアイデアが出ています。

4町村が合併してできた南城市には、旧町村間の縄張り意識がいくらか残っているように感

じられる時があります。コミュニティーには、時代や若い世代の価値観、ライフスタイルには馴染みにくい習慣や風土があるという声も聞かれます。地域の伝統や特長は大事にしつつ、ベテラン層と若手、双方の努力と相互協力により、将来へ向かって開かれたコミュニティーへと進歩させ、発展させる必要があると考えます。

### (3) ブランディング

南城市はどんな地域なのか？南城市には何があるのか？南城市の自然・歴史・文化・暮らし・産業などの特長や特性を分かりやすくまとめ、市の内外へ伝えるためのブランディングを強化する必要があると考えます。

これにより市民や市内の事業者、市職員など南城市に関わる皆がビジョンを共有できるようになり、地域への愛着が深まり、これまで以上に誇りを持てるようになります。またブランディングは特産品の開発や販売促進を牽引し、産業の活性化や雇用の拡大にもつながると考えられます。

## 4. 結び

目指すべき将来像を実現するために、これまでに述べてきた「産業と仕事」「暮らし」「ブランディング」の3つの分野における取り組みの推進を南城市に対してお願いいたします。

私たち若手の市民も、学業や仕事を通じた研鑽に励みながら、それぞれの立場で地域の発展やコミュニティーの活性化に貢献して参る所存です。市と市民のコミュニケーションおよび協働により、私たち市民のための地域づくりを進めることを希望いたします。掲載した各提案について、前向きなご検討をお願いいたします。

令和3年1月14日

南城市若者の夢実現委員会 委員一同